

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: 亜硫酸水素ナトリウム (国産1級)

製品番号(SDS NO): D005181-1

供給者情報詳細

供給者: 国産化学株式会社

住所: 東京都中央区日本橋本町3丁目1番3号

担当部署: 品質保証部

電話番号: 045-328-1715

FAX: 045-328-1716

e-mail address: cs@kokusan-chem.co.jp

緊急連絡先: 国産化学株式会社 横浜事業所 神奈川県横浜市西区北幸2-8-29

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分 4

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(気道刺激性)

環境有害性

水生環境有害性(急性): 区分 3

水生環境有害性(長期間): 区分 3

(注)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

重篤な眼の損傷

呼吸器への刺激のおそれ

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

直ちに医師に連絡すること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

口をすすぐこと。

飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

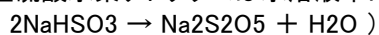
3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:

混合物

化学的特定名: 亜硫酸水素ナトリウムと二亜硫酸ナトリウムの混合物

(亜硫酸水素ナトリウムは水溶液中に存在し、乾燥すると脱水反応により二亜硫酸ナトリウムとなる。



慣用名、別名: ピロ亜硫酸ナトリウム、重亜硫酸ナトリウム

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	化学式
亜硫酸水素ナトリウム	(SO ₂ として) 58.5 ≤	7631-90-5	1-502	HNaO ₃ S
二亜硫酸ナトリウム	-	7681-57-4	1-502	Na ₂ O ₅ S ₂

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

亜硫酸水素ナトリウム, 二亜硫酸ナトリウム

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

亜硫酸水素ナトリウム, 二亜硫酸ナトリウム

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

吸入: 咳、喘鳴。

眼: 発赤、痛み。

経口摂取: 腹痛、下痢、吐き気、嘔吐。

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

この製品自体は燃焼しない。

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

消火を行う者の保護

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

粉じんが飛散しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

湿らせてもよい場合は、粉塵を避けるため湿らせてから掃き入れる。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

局所排気、全体換気

排気/換気設備を設ける。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

粉じんの堆積を防止する。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(亜硫酸水素ナトリウム)

ACGIH(1992) TWA: 5mg/m³ (皮膚, 眼および上気道刺激)

(二亜硫酸ナトリウム)

ACGIH(1992) TWA: 5mg/m³ (上気道刺激)

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状: 粉末

色: 白色

臭い: 二酸化イオウ臭

pH: 酸性 (水溶液)

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

融点/凝固点: (decomposes) 150°C

比重/密度: 1.48g/cm³

溶解度

水に対する溶解度: 54 g/100 ml

溶媒に対する溶解度: アルコールに可溶。

n-オクタノール/水分配係数: log Pow-3.7

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

空気に曝されているとSO₂を放出し、硫酸塩となる。

危険有害反応可能性

加熱すると分解して、硫黄酸化物を生じる。

強力な還元剤であり、酸化剤と反応する。

亜硝酸ナトリウム溶液とはげしく反応する。

酸と接触すると分解し、硫黄酸化物を生じる。

避けるべき条件

熱、混触危険物質との接触。

混触危険物質

酸、酸化性物質、亜硝酸ナトリウム溶液

危険有害な分解生成物

硫黄酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(二亜硫酸ナトリウム)

rat LD50 =1540 mg/kg (EPA Pesticides, 2007)

局所効果

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(亜硫酸水素ナトリウム)

ヒト 軽度の眼と呼吸器への反応 (ACGIH 7th, 2001)

(二亜硫酸ナトリウム)

ラビット 眼刺激性物質 (SIDS, 2001); EU CLP: Eye Dam. 1 H318

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

(亜硫酸水素ナトリウム)

ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない

(二亜硫酸ナトリウム)

ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(亜硫酸水素ナトリウム) 気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

(二亜硫酸ナトリウム) 気道刺激性 (HSDB, 2013)

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に有害

長期継続的影響により水生生物に有害

水生毒性(急性)成分データ

[日本公表根拠データ]

(二亜硫酸ナトリウム)

藻類(*Scenedesmus subspicatus*) EC50=48.1mg/L/72hr (SIDS, 2004)

水溶解度

(亜硫酸水素ナトリウム)

混和する (ICSC, 2006)

(二亜硫酸ナトリウム)

54 g/100 ml (ICSC, 2002)

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

(二亜硫酸ナトリウム)

log Pow=-3.7 (ICSC, 2002)

土壌中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行なって危険有害性のレベルを低い状態にする。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄して関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する事。

14. 輸送上の注意**国連番号、国連分類**

番号 : 2693

品名(国連輸送名) :

亜硫酸水素塩類、N.O.S.

国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 8

容器等級 : III

指針番号 : 154

特別規定番号 : 274; A803

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

名称表示危険/有害物(令18条)

亜硫酸水素ナトリウム; 二亜硫酸ナトリウム

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

亜硫酸水素ナトリウム; 二亜硫酸ナトリウム

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

船舶安全法

腐食性物質 分類8

航空法

腐食性物質 分類8

適用法規情報

水道法: 有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)

海洋汚染防止法: 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)

労働基準法: 疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)(二亜硫酸ナトリウム)

輸出貿易管理令別表第1の16の項に該当。

16. その他の情報**参考文献**

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2015 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の手配を対象としたものであって、特殊な手配の場合

合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。